

2023年9月19日

クーデター以降の対ミャンマーODAを考える

対ミャンマーODAの特徴

メコン・ウォッチ 木口由香

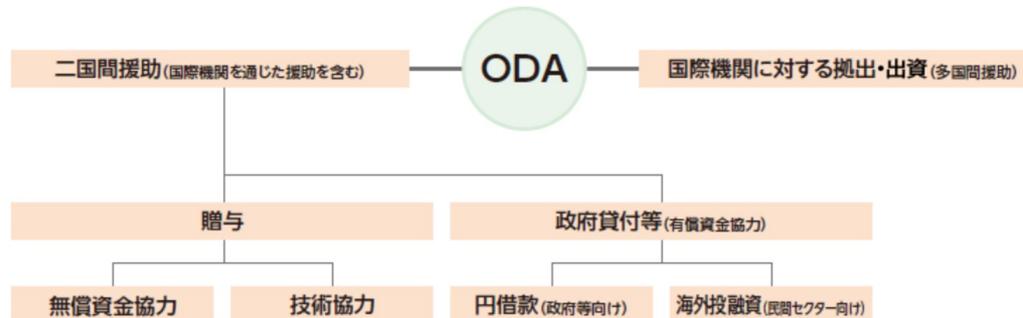
そもそも政府開発援助（ODA）とは何か？

- 公的機関またはその実施機関によって供与される
 - 開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たる目的とする
 - 譲許的性格を有する（有償資金協力の場合、貸付条件（金利、償還期間等）が受取国にとって有利に設定されている）
 - ODAには、開発途上国・地域を直接支援する**二国間援助**と、国際機関に対する拠出である**多国間援助**がある。二国間援助は、贈与と政府貸付等に分けることができ、贈与には無償資金協力と技術協力がある
- ◆ ODA以外の資金の流れには、「その他の政府資金（Other Official Flows: OOF）」、「民間資金（Private Flows: PF）」等がある

出典：財務省「ODAの定義」

https://www.mof.go.jp/policy/international_policy/economic_assistance/oda/oda.html

ODAの種類



- 「贈与」の中には国際機関の行う具体的な事業に対する拠出も含まれます。「政府貸付等 (有償資金協力)」には、「円借款」と「海外投融資」があります

出典: 外務省

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda_keitai.html

高い日本のODAの借款比率

2020年のODAコミットメント総額に占める借款の割合が大きい国 [経済協力開発機構(OECD)開発援助委員会(DAC)調べ]

- 日本 (67%)
- EU機関(34%)
- フランス (44%)
- ドイツ (20%)
- 韓国 (29%)

出典: DAC Working Party on Development Finance Statistics

[https://one.oecd.org/document/DCD/DAC/STAT\(2022\)14/FINAL/en/pdf](https://one.oecd.org/document/DCD/DAC/STAT(2022)14/FINAL/en/pdf)

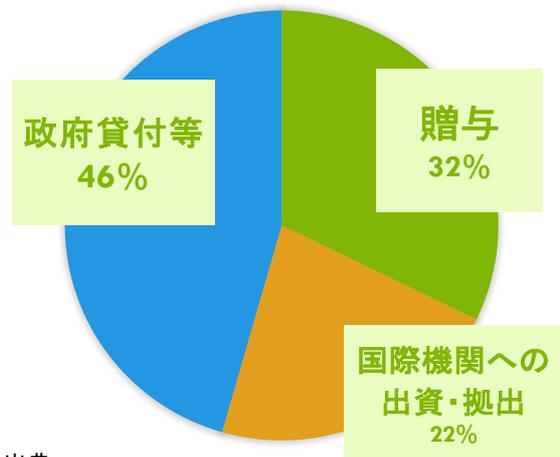
日本のODAの特徴

- 日本の援助は、基本的に「経済協力」であること
 - 「開発途上国の経済発展を支援することを一般に「経済協力」と呼んでいるが・・・(財務省HP)」
- 借款の比率が高い
- 円借款の貸付残高13兆5724億59百万円。令和2年度の黒字は約330億円(令和2年度末 財務省)

出典:財務省

https://www.mof.go.jp/policy/budget/budger_workflow/account/fy2020/kessan_02_38.pdf

日本のODA (2021)



出典:

https://www.mof.go.jp/policy/international_policy/economic_assistance/oda/oda_gaikan.pdf

日本の対ミャンマーODA

2020年度までの累積

- 有償資金協力**1兆3,784.72億円***(約束のみ。全額支払われたわけではない)。現在も**実施中なのは34案件、総額7,396億円**
- 無償資金協力3565.18億円*
- 技術協力1099.49億円*

* 外務省、「政府開発援助(ODA)国別データ集2021年」より

インフラ整備に重点

対ミャンマーODA比率

■ 有償資金協力 ■ 無償資金協力 ■ 技術協力

